

ささぶねのみち再整備工事（御影橋～大原みねみち公園）整備（案）

令和2年6月
横浜市都筑区都筑土木事務所

《 図面-No. 1 》

御影橋～（葛ヶ谷公園）

《 図面-No. 2 》

（葛ヶ谷公園）～ひょうたん池

《 図面-No. 3 》

ひょうたん池～（大原みねみち公園）

※緑道外の公園個所は再整備範囲
ではありません。



緑道再整備のコンセプト

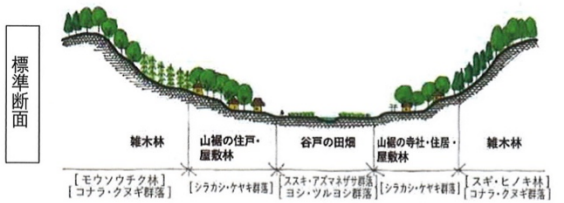
当初の緑道の設計思想を最大限に尊重しつつ、変化する社会情勢に対応した緑道を目指します。

港北ニュータウンの緑道網は、利用者の受ける印象レベルから、都市環境への貢献まで様々な工夫がなされています。

- ◎地形を活かす ◎立体交差による連続性の確保と場面転換 ◎周辺環境に配慮した景観計画 ◎エッジレス
- ◎視点場を結ぶ有機的な意匠 ◎自然素材の多用 ◎デザイン性に優れた施設 ◎緑道を楽しむ仕掛け

一方、施設の老朽化やバリアフリー化、樹木の巨木化や過密化等が課題となっております。したがって、当初の設計思想や仕様を活かした再整備を行なっていきます。

開発以前

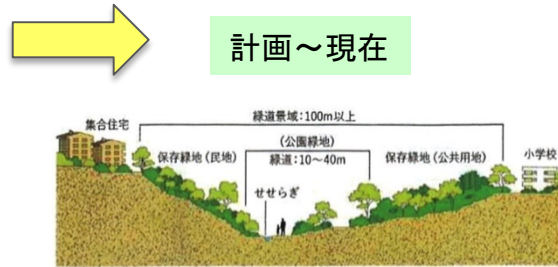


(ベース図出典：港北ニュータウンまちの成り立ちとルールづくり／(株)山手総合計画研究所)

～港北ニュータウンのまちづくり方針～

- ・ 緑の環境を最大限保存する都市づくり
- ・ ‘ふるさと’をしのぼせる都市づくり
- ・ 安全なまちづくり
- ・ 高い水準のサービスが得られるまちづくり

計画～現在

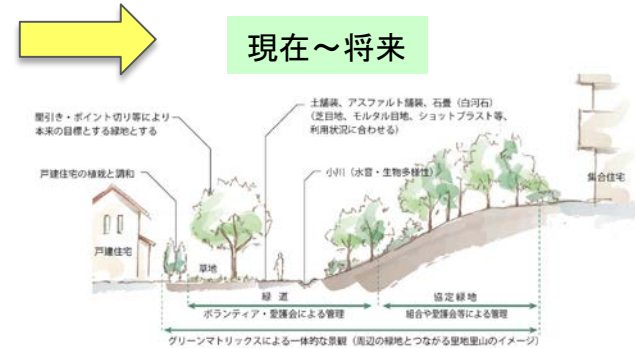


(ベース図出典：港北ニュータウン公園と緑道の計画リーフレット)

～基本構想～ グリーンマトリックス

緑道を主骨格とし、集合住宅、学校、企業用地など大街区の斜面樹林や屋敷林など民有の緑の公園緑地などの公共の緑と束ねて連続させ、さらに歴史的遺産、水景なども結合させて再構築し、地区全体の空間構成の要としたシステムです。

現在～将来



～ガイドラインの考え方～

- ・ 当初設計思想の継承
- ・ 利用形態の変化、社会的背景に対応
- ・ 市民参加

多様な利用形態による課題への再整備方針

空間イメージ



社会的背景、利用形態の変化による課題

ふるさとも感じさせる要素

- ①あぜ道 (土、石等) →
- ②谷戸を流れる小川 →
- ③樹林地 (屋敷林、雑木林) →
- ④一体的な土地利用 →

空間に読み替えられた要素

- ①土舗装、白河石舗装 →
- ②せせらぎ →
- ③保存緑地 →
- ④エッジレス 《付加機能》
 - ・手すり・車止め
 - ・ベンチ・サイン・照明

課題を踏まえた整備方針

- ①機能的かつ土を連想させる舗装、白河石の保存
- ②せせらぎの継承
- ③樹林地の再生
- ④エッジレスの継承 《付加機能の更新》
 - ・バリアフリー化、デザインの踏襲
 - ・機能性、景観性に配慮、LED化

ゾーニング

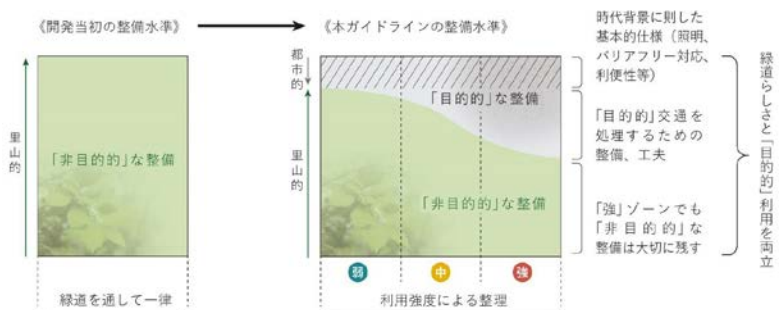
多様な利用形態に対応するため、緑道が区民に果たす役割によってゾーニングし、それに応じた整備を行います。

※ふじやとのみち・くさぶえのみちについて東京都市大学丹羽研究室より研究データの提供を受けました

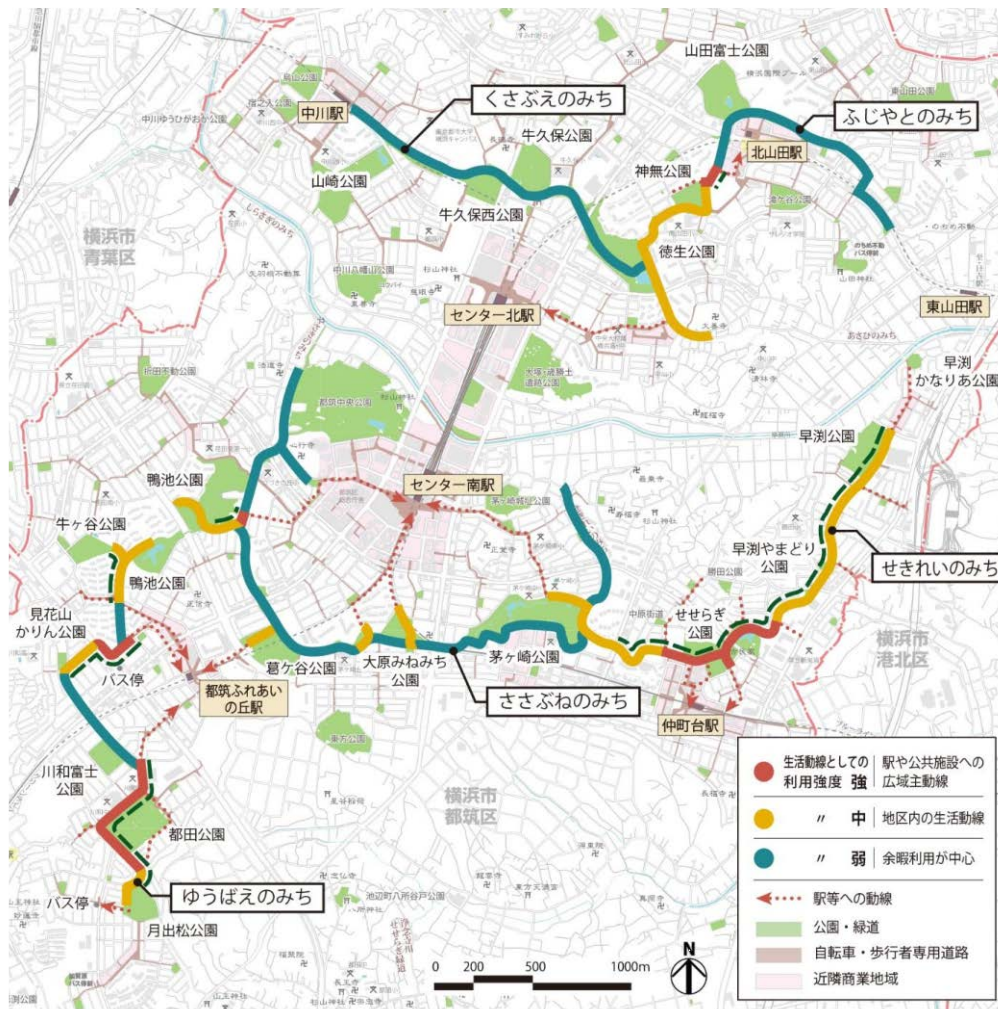
当初の設計思想を損なわずに変化する社会情勢に対応させるための手法として、ゾーニングの考え方を導入します。

緑道には多様な利用形態とそれに応じたニーズが存在します。

そこで、特に整備内容に対する考え方に開きの大きい「生活動線としての利用強度」によるゾーニングを行い、それぞれのゾーンに応じた整備内容を定めます。



「生活動線としての利用頻度に基づくゾーニング」と整備水準の考え方



「生活動線としての利用頻度に基づくゾーニング」

現況舗装材-凡例

脱色 アスファルト	ピンコロ
土	コンクリート系
ダスト	黒アスファルト
石系	飛び平板

(表記)
 緑文字：既設施設
 赤文字：現況・課題
 青文字：整備内容（予定）

■高木の伐採、更新等



樹木の更新を行なった事例（鴨池公園）

※民有地と隣接する樹木の管理方針について各管理事務所又は植栽管理委員会と調整して作業を行います。別途打合せの機会を設けてさせていただきます

■池浚渫の様子



池浚渫を行った事例（根岸森林公園）

土砂の流入で水深が浅くなり、富栄養化し悪臭の原因になっているため浚渫を行います。（段階的に行い、生態系に配慮します。）

メゾンふじのき台

民有緑地

- ・萌芽更新予定
- ・境界の緑道側が見通しが悪い
- ・マンションの管理組合と方針を共有し、緑道側の樹木管理を行なっていく

樹木の過高木化

高木の伐採、更新、危険木や枯損木の除去

ベンチ①②③④（木製）
 既設ベンチ③⑥～約362m
 ベンチ板張り替えを行う

大原みねみち公園

土舗装、ガラ露出
 土舗装を更新

池浚渫予定

土舗装、ガラ露出、水溜り
 土舗装へ更新・排水設備整備

池浚渫予定

車止め：旧タイプ
 サイン①⑨（車止め一体型）
 車止め：Bタイプに更新
 （車止めの更新参照）
 サイン：盤面更新

←図面-No.2

■土舗装を更新



コンクリート殻の露出

コンクリート殻の除去



水溜り

水たまりの改善



※細粒度砕石（RM-40）舗装
 （せきれいのみち）

砕石舗装について以前の緑道工事ではダスト舗装を用いていましたが勾配が急なところでは舗装が流れてしまう等の問題がありました。土が流れるのを防ぐため舗装路盤の一時開放時に使用した粒度が均一な砕石舗装を使用して整備を行います。

■ベンチ板の更新



座板の老朽がみられるため、ヒノキ材で更新します。